



山形市

DATA	【人口】	244,102人 (R4.12.1現在)
	【面積】	381.58平方キロメートル
	【職員数】	2,424人 (R4.4.1現在)

《発表のテーマ》

LINEを活用！「おやこよりそいチャットやまがた」開始及び児童遊戯施設の利用受付システムの導入

＜発表概要or今年の特徴＞

支援対象児童等見守り強化事業を開始するに当たり、包括連携に関する協定を締結した特定非営利活動法人フローレンスと連携し、LINEを活用した「おやこよりそいチャットやまがた」及び児童遊戯施設利用受付システムを導入した。

＜改善運動の特色やアピールポイントなど＞

コロナ禍で一層強まる子育て世帯の困りごとや孤立感の解消

- ・子育てに関する様々な困りごとや悩みに関する情報発信・相談を行い、適切な相談窓口の紹介や具体的な対応方法等を提供
- ・支援が必要な児童を早期発見し、宅食による見守り強化

施設利用者の利便性向上

- ・南部児童遊戯施設『コパル』・山形市児童遊戯施設『べにっこひろば』の入館予約システムでもLINEを導入

＜メッセージ・意気込み＞


子育てするなら山形市！を目指してがんばります！



コパル



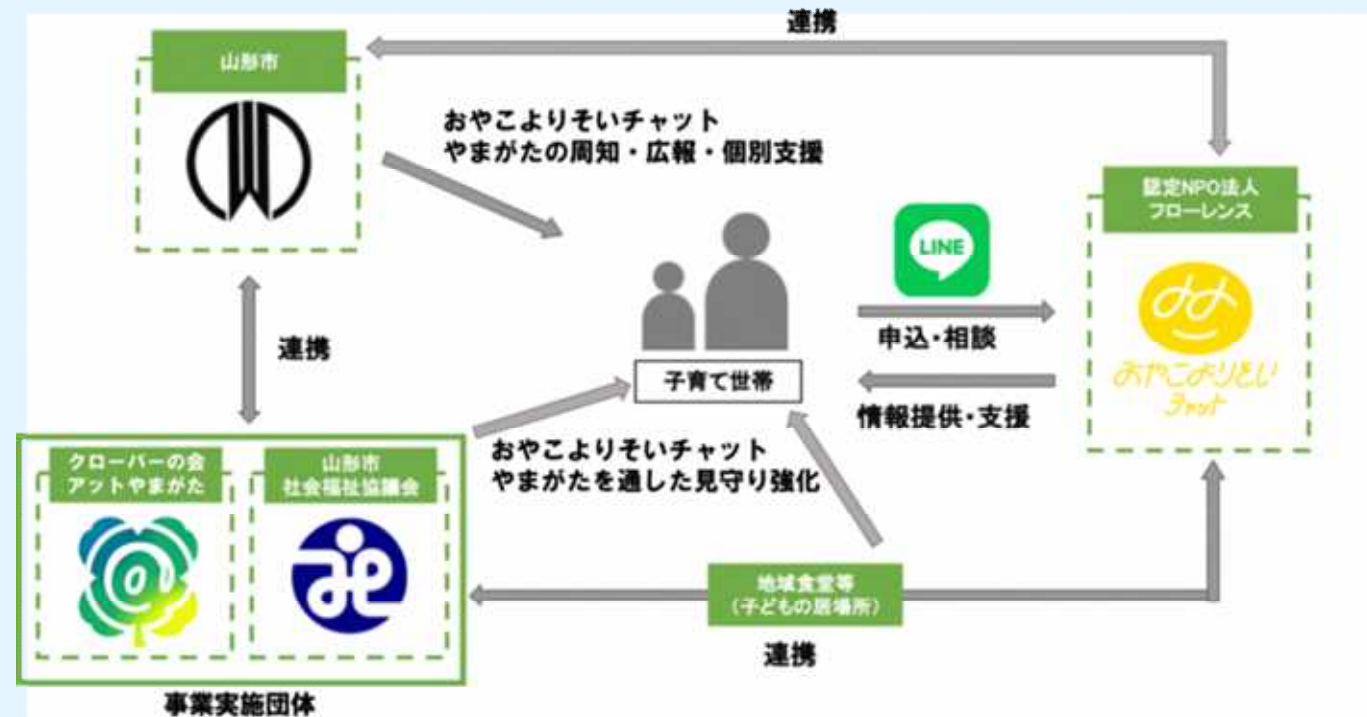
べにっこひろば

部署名	山形県山形市 こども未来部こども家庭支援課
タイトル	LINEを活用した 「おやこよりそいチャットやまがた」及び 児童遊戯施設利用受付システムの導入
改善前 【Before】	<ul style="list-style-type: none">・子育て支援を受けるまでには、担当窓口など特定の場所まで行って申請しなければならない場合が多く、子育て世帯にとって物理的・心理的なハードルとなっていた。・さらにコロナ禍で子育て世帯の困りごとが増え、孤立感もより一層強まっていた。 

取組内容

1. 包括連携協定を締結したNPOと連携し、LINEを活用した「おやこよりそいチャットやまがた」を実施

子育てに関する困りごとや悩みに関する情報発信・相談を行う
→ 相談窓口の照会や具体的な対応方法を提供
支援が必要な児童の早期発見へ



取組内容

2. 山形市内の児童遊戯施設『コパル』と『べにっこひろば』の入館予約システムにもLINEを導入



効果 【After】

(改善の成果
・取組の効果)

1. 「おやこよりそいチャットやまがた」

- ・利用開始から8カ月で 登録者数 1,000名突破！
- ・月間100件～200件程度の相談
- ・ちょっとした子育てに関する悩みから虐待が疑われるケースまで幅広い相談に対応

➡ 身近なツールLINEを利用することで、コロナ禍で一層強まる子育て世帯の困りごとや孤立感の解消を図った。また、こどもの年齢にあったその時期に必要な情報を通知し、子育て世帯をサポート！

2. 児童遊戯施設『コパル』と『べにっこひろば』の入館予約

LINEから予約があった各児童遊戯施設の予約状況 (R4.4.18～R4.12.31)

- ・『コパル』 18,544 件
- ・『べにっこひろば』 4,706 件

➡ 入場のための待ち時間をなくし、施設の混雑回避、感染症予防にもつながる。外出先でもすぐに予約が可能であるため、身近な公共施設として気軽に多くの方々に利用いただいた。